



ロータリーの
マジック
2024～2025年度
国際ロータリーテーマ

UEDA EAST 上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長 / 渡辺敏成 幹事 / 工藤 恒 会報委員長 / 飯島洋一
例 会 : 毎週水曜日 午後12:30 ~ 1:30
会 場 : 上田東急REIホテル
事務局 : 上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501
U R L : <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast/rc/>
E-mail : uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

WEEKLY REPORT

NOVEMBER.13.2024 第2123回

手話について



上小手話サークル
代 表 山辺 恭子様
上田市聴覚障害者協会
副会長 牧内 智子様

【上小手話サークルの活動について】

上小手話サークルは手話を学ぶだけでなく、聴覚障害者の方たちと共に交流し、活動をしている団体です。
毎週木曜日と金曜日（第5週は、お休み）に開催。木曜日は午後1:30～3:00、金曜日は午後7:00～9:00、内容は手話べり（おしゃべり）会・グループに分かれて手話学習・全体学習（ゲームなど）を開催しています。その他にもお花見、講演会、クリスマス会、お出かけ交流会等を開催しています。

また、聴覚障害者協会の大会、講演会への参加、ボランティア等の協力もしています。

その他の活動として聴覚障害者の方を対象とした「うえだ手話ガイドの会」への協力をしています。これは、上田市聴覚障害者協会と上小手話サークルの有志が集まり「うえだ手話ガイドの会」を結成し、上田城跡公園を聴覚障害者が手話で案内するという活動をしています。

【聴覚障害者とろう者について】

まず聴覚障害者とろう者の違いとは？「聴覚障害者」は聞こえないことを障害としてとらえていて、聴力レベルや失聴時期、どの聴覚器官部分を損傷しているかにより区別されます。聞こえないことをマイナスにとらえています。これを医学的・制度的視点としています。「ろう者」は聞こえないことを障害とは見なさず聴力レベルは問いません。ろうコミュニティのメンバーの一員であり「手話」という言語や「ろう文化」という独自の文化を有しています。さらに大多数の聴者の中にいるマイノリティー集団であるという見方です。これは、文化的・言語的視点としており「聴覚障害者」とは大きく異なります。

さて、ろう者とのコミュニケーション方法はどのようなものがあるか？まず、筆談や空書が考えられます。その他に聴覚活用、口話または読話。さらに、盲ろう者の

場合は触手話、指点字の方法を用います。
「聞こえない人」だから手話ができるとは限りません。聴こえなくなった時期、生育環境、年齢、本人の読話力、考え方によりコミュニケーション方法は十人十色です。その人に合ったコミュニケーション方法でお願いします。通じ合いたい、伝える必要がある、というお互いの気持ちが大切です。

【手話言語について】

手話とは何か？聴者の母語は、日本は日本語、アメリカは英語、フランスはフランス語です。ろう者の母語は、日本は日本手話、アメリカはアメリカ手話、フランスはフランス手話です。手話は、国や地域などによって異なり世界で400種類以上あります。

手話は、手の形、位置、動き、表情で表現する「手話言語」です。なので手話は日本語と同じではありません。

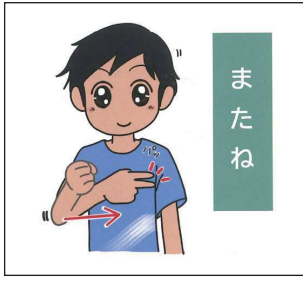
【手話言語条例について】

全国初の手話言語条例が制定したのは鳥取県です。長野県は、2016年3月14日に制定され、全国で4番目、北信越ブロックでは初でした。上田市は、2020年7月1日に制定されました。

【手話単語】

イラスト：牧内智子

日常で使う手話表現です。「またね」「ごめんさい」「お疲れさま」「ありがとう」など、覚えて頂けたらと思います。

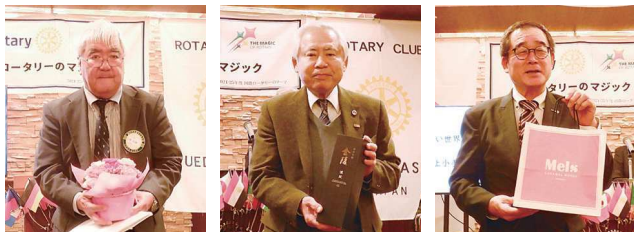


聴こえる皆さんが手話に親しみ、手話を理解していた
だければ、ろう者にとってのバリアは解消され、だれも

が暮らしやすい社会になると思います。

例会日誌 11月13日(水) 晴れ 2024～2025 No.15

- 司 会 遠藤隆幸君
- 斉 唱 「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲ ス ト 山辺恭子様(上小手話サークル 代表)
牧内智子様(上田市聴覚障害者協会 副会長)
趙 天澍君(米山奨学生)
- 11月慶祝 ※次号に掲載します
- ラッキー賞 石井公彦君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 山辺恭子様(工藤君より地区大会in軽井沢のお土産のお菓子)
牧内智子様(後藤君より弘前土産のりんごのお菓子)
後藤「上田市の要請で青森県弘前城公園の桜を視察してきました」
滝澤修一君(宮下博道君より日本酒)
田守正彦君(関君より焼菓子)



■会長挨拶

渡辺 敏成 会長



先日の職場訪問・松茸例会、また地区大会に多数ご参加、有難うございました。日置電機の広大さや待遇の良さは真似しようにもできそうもありません。松茸は今年は中折れせずなんとか10月末までもってもらい、石井会員には多大なご苦勞をいただきました。

地区大会はやっと始まった紅葉の中、ためになる話を聞くことができ有益でしたし、ロータリー賞を受賞し、壇上の上原直前会長の雄姿を拝見することができました。

そうこうするうちの2週間で日本とアメリカの重大な選挙の結果が出ておりました。10月27日の衆院選では皆さんご承知のとおり、与党が少数となり国民民主党が躍進しました。政局は不安定となりましたが、今の日本には最善の結果といえるのではないのでしょうか？これまでは財務省を筆頭とした官僚に丸め込まれた与党議員が決めてしまい、国会審議など通過儀礼として行われていたにすぎません。何を議論したかもわからないままいろいろな事案が決まってしまうました。全世界で物議となっているLGBTも岸田氏とエマニュエル大使の一声で決まったようなものです。今後は、国会や政党間協議で見える形で議論が行われ、真に国民にとって有意義な政策が行われることに期待します。

アメリカでは日本国内との報道とは異なりトランプ氏の圧勝でした。そもそもアメリカ民主党寄りのわが政府

や左翼寄りの報道機関は接戦をアピールしていましたが、結果は接戦7州トランプ氏全勝で木村太郎氏 Good Job としか言えません。11月6日の昼の報道番組のお通夜のような雰囲気は興味深いもので所用を忘れて見入ってしまいました。

日米の選挙を通して考えられるのは、もはや抽象的なキャッチフレーズは有権者には通用しないことです。日本でも「手取りを増やす」といった政策を掲げ具体的政策を示した党は躍進し、「ルールを守る」だの「裏金議員」だの戦った与野党は伸びませんでした。アメリカでも、トランプ氏の訴訟についての個人攻撃や「民主主義」など抽象的な訴え、現政権の総括を行わない女性候補は底の浅さを露呈してしまいました。

今後の日本や対アメリカ、対中国について大きく環境が変わりました。以前のように政治はお任せではなく、ロータリアン一人一人が政治を注意深く見守る必要が従来より高まっていると感じます。

■幹事報告

工藤 恒 幹事

- ・11月ロータリーレート 1ドル=153円(←142円)
- ・「令和6年9月能登半島豪雨災害」支援金について。第2610地区ガバナー会より支援金依頼があり、地区災害義援金口座より20万円を送金したとのこと。
- ・R財団地区補助金管理セミナー 12月1日(日)

■ロータリー賞を受賞

当クラブは2023-24年度ロータリー賞を受賞、地区大会にて、上原直前会長が受け取りました。会員の皆様のご協力の賜物です。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	47	16	—	65.96%
前々回	52	47	16	8	82.98%

ニコニコBOX (敬称略)

飯島(裕)、飯島(洋)、石井、上原、遠藤、工藤、久保倉島、後藤、小林、佐藤、関、滝澤、竹内、玉井、田守手塚(た)、中嶋、浜野、増田、蓑輪、宮澤、宮下(博)母袋(創)、母袋(卓)、柳澤亭、柳澤誠、山寺、渡辺
※渡辺敏成君/山辺さん、牧内さん、ようこそいらっしゃいました。お話楽しみにしております。
※柳澤 誠君/地区大会の軽井沢すばらしい紅葉でした。
※母袋卓郎君/上田西高校サッカー一部、全国大会出場です！応援とご寄付を宜しくお願いします。
本日の金額/43,000円 累計/559,010円

[次週のプログラム]

11月20日(水) 休会、27日(水) 会員卓話 宮下秀司君